



翔け！はばたき

No.36
2020年
夏号

安心して暮らせる日々を願い

新型コロナウイルス発症以来、感染の恐れと予防に迫られ、季節感をあまり感じる余裕もなくすでに夏となりました。感染者は減少どころかますます増加傾向にあります。

この間、はばたき利用者の皆さんは、毎日元気に通所されております。施設での感染を防ぐため、職員は、手洗い・消毒・マスクの装着・検温等の他、体調管理に加え節度ある社会的行動が求められております。細心の注意を払い感染防止に努めていきます。

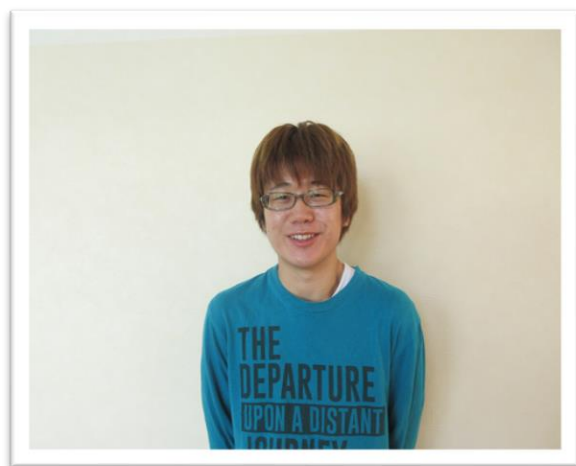
年度当初からの予定していた社会参加を目的としたお楽しみ行事はすべて中止となっております。8月以降は、利用者と職員のみと限定されますが、ドライブ・前庭でのお楽しみ行事等を順次実施していきます。

法人アシリカは、障害を持つ方々が安心して社会生活が送れるようにと、グループホームの建設を予定しております。在宅支援を目指した小さな福祉法人ですので、資金も脆弱であり、国への補助申請作業を行っているところですが、膨大な資金援助を必要としております。全容が固まり次第お知らせしたいと思います。

一日も早く、安心した生活を送ることができることを願っております。

所長 井川 哲雄

職員紹介



5月21日より入社致しました。助川と申します。
まだまだわからないことが多く、勉強中の身ですが精一杯務めさせていただきますので、何卒よろしくお願い致します。

お知らせ

「はばたき祭り中止のお知らせ」

毎年9月に開催しておりましたはばたき祭りですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加される地域の皆様、利用者の皆様ならびに職員の健康、安全を第一に考慮し開催を中止することといたしました。
来年は、心から楽しめるはばたき祭りが開催できる状況になることを願っております。

「寄贈の御礼」

地域の皆様や各関係団体様より新型コロナウイルス対策として、マスクやフェイスシールド等の寄贈がありました。当施設の安全な運営にご協力、ご配慮いただいておりますことに感謝申し上げます

中標津出張所

7月初旬、かねてから計画していた「いちご摘み」に、利用者さんと保護者さんみんなで出掛けてきました！場所は中標津町川北地区にある「久保建設」様の農園で、いちごの他にもハウスでたくさんの野菜を育てていました。中標津出張所としては、初体験のいちご摘み。小さなフードバックを購入し、おいしそうに実ったいちごをひとつひとつ摘み取りました。途中、味見をしてみると自然な甘さに利用者さんも笑顔をみせて喜んでくれました。初めてといえどコツを掴んでくるとフードバックはすぐにいっぱい。つかさず大きいバックに変更してもらおう方や、それでも足りずにいちご箱を購入する方も。初夏のひととき、貴重な体験をさせて頂きました。

中標津出張所では、他にも楽しいお出掛けを計画中。利用者さんとともにたくさんの思い出をつくっていきたいです。

最後に、本来車いすで入っていくことができない場所を、ぎりぎりまで車両が入れるように土をならしてくれ、いちご畑のすぐそばまで入れるようにして下さいました久保建設様のご配慮に改めてお礼を申し上げます。（藤井）



流しそうめん

楽しかった流しそうめん

7月22日（水）当日天候は雨で外は肌寒い日でしたが、特設流しそうめん会場は利用者さんの期待と逞しい食欲で熱気に溢れていました。

水の流れを微調整しながら、そうめんは台の上を軽やかに滑るように流れ利用者さんの箸やフォークですくいあげられ胃袋の中に入っていました。2回流しそうめんチャレンジする利用者さんも多くいて、そうめんは全て完食しました。

流しお菓子の部も、利用者さんの多くの手が滑るお菓子を堰き止め、掴み取り笑いや掛け声などが響き渡り楽しい時間を過ごすことができました。

釧路の涼しい夏を満喫しようとイキイキとした表情が垣間見られた涼しい夏の行事でした。

（田積）



社会福祉法人アシリカ

多機能型通所施設はばたき

ホームページはこちら

釧路市鳥取南7丁目2番10号

発行責任者 井川 哲雄



